

SHERPA

INOUE BORING NEWS LETTER SPECIAL EDITION

[シェルパ] 2015.VOL.5



PRとは何か。

KURUMI SPECIAL

DEAR READERS!



僕を含めた、エンジンを愛する人達へ

20世紀がどんな世紀だったか、ということを知る方法というのはいろいろあると思います。なかでもエンジンが大発展して世界中を変えた世紀という意味で「エンジンの世紀」と言う方をしても間違いではないと思います。バイクやクルマ、ボートや飛行機、農耕機械や草刈り機まで、あらゆるものがエンジンによって動かされるようになり、人間の行動範囲は極大に達するようになりました。時代は21世紀となり、ある部分ではエンジンの発展は行き詰まりをみせているようにも見えます。またその排気を含む有害成分や温暖化ガスが大きな問題になっていることもあります。

もしかしたら近い将来（数十年のうちに）いまのように化石燃料を燃焼させて動くタイプの「エンジン」は限界を迎えるのかもしれない。

でも、そのようにエンジンの発展の限界がみえはじめた今でも、エンジンとエンジンのついた乗り物をこよなく愛する人達がたくさんいます。レースに、遠乗り、旅行に、身近な通勤やお出かけにも、エンジンを使った乗り物で行く事が好きな人達。自由を与えてくれて、移動の能力を飛躍的に高めてくれるエンジンの付いた素敵な乗り物たち。

爆発を筒の中に閉じ込めて、その爆発する力を上手に取り出して動力として利用しようという無謀にも思える原理を、いまでは多くの方がそれと意識する事もなく、毎日ふつうに利用しています。そして、中にはその仕組みをこよなく愛し、自分でその仕組みを分解し組み立てて、最善の状態に動くように知恵を絞り精魂を傾ける人達があります。エンジンの仕組みに耳を傾け、その息吹に心を躍らせる、そんな感性を持った方達なのだと思います。私たち（株）井上ボーリングは、そんな方々のお役にたきたい、と心の底からつよく願っています。

SHERPA CONTENTS

2	DEAR READERS !
3	CONTENTS
4-5	gravure Akiba Kurumi
6-7	ICBM ADVERTISEMENT
8-9	Akiba Kurumi INTERVIEW
10-11	PR POLICY of iB

photograph:
Sotaro Inoue

Cover photo
Starring: Kurumi Akiba

text:
Sotaro Inoue

本冊子のタイトル**SHERPA**は当社所有の**BULTACO**
SHERPAT にちなんだもの。と、同時に内燃機の世界への
案内人でありたいという**IB**の願いも込められています。

INOUE BORING NEWS LETTER SPECIAL EDITION



iB Front Lady 「秋場 久留実」

iBとお客様との接点を担う
「フロント」業務。

秋場久留実は2014年仕事をする
環境として、
iB（株）井上ボーリングを選びま
した。

半年間内部の仕事の経験を積
み知識を吸収したのち、いよいよPR活動にも本格的に取り組ん
で、いま1年が経とうとしている。



KURUMI AKIBA



iBの哲学を多くのかたに届ける
その役割を一身に担う。

2014年 10月

SR400/500

[ICBM]

「電解メッキ」による
超高硬度のメッキで剥
離しません。「無電解
メッキ」とは似て非な
る技術でiBでは既に
30年以上の加工の歴

ICBM
ICBM for every motorcycles.

SR400シリンダー

ICBM加工（アルミメッキスリーブ化）

STDサイズ（φ87mm） 75,600円

完成品シリンダー・ピストンキット

STDサイズ（φ87） WISECO 113,000円



Eternal SR

「SRに永遠の命を！」

永く愛される名車SRにこそ、超高硬度で耐
久性を誇る[ICBM]の技術がふさわしい。

4ストローク[ICBM]の第一号アイテムと
してSRを選んだのには、iBのYAMAHA
SRに対するリスペクトがあります。

エンジンで世界を笑顔に！ since 1953



INOUE BORING
株式会社 井上ボーリング

<http://www.ibg.co.jp/>

〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂 671

TEL 049-261-5833 FAX 049-263-1425

SR blog

6 ICBM搭載SRのテストレポートは下記で！

<http://sr400icbm.blog.fc2.com>



2014年 10月

メッキ化

ICBM

アルミスリーブを製作して、シリンダー内径をメッキ化します。
超長寿命・軽量・滑りがよい理想のシリンダーを造ります。

減らないシリンダー
を創りたい

**[ICBM] = [I]NOUE BORING [C]YLINDER [B]ORE FINISHING
[M]ETHOD**



内径をアルミ化しメッキ仕上げする事で鋳鉄スリーブに比較して、摩耗が圧倒的に少なく、軽量で、放熱性がよく、滑りもいい理想的なシリンダー内径を造ることができます。
メッキ内のシリコンの硬度はヴィッカース硬度で2,000以上！！

ICBMの性能・耐久性はレースでも実証済み

**2014TC400シリーズチャンピオン
&筑波コースレコードホルダー！！**

iB RACING TEAM 池田宗敏

CBRの鋳鉄スリーブエンジンをICBM化することでモダナイズに成功。

**2012~14 Legend of Classic
@FSW3年連続優勝！！**

**CB72 翼スピードクラブ横瀬文明様
富士スピードウェイ**

両車ともエンジンは鋳鉄スリーブを削り落としICBM化。走行後もCB72に特有の縦傷が付かず、信頼性を実証。
CBR400では高回転の伸びを実感、谷の無い加速を実現！



Interview *with* KURUMI

iBにとってPR活動は重要な仕事です。PR活動にも最適な人材として久留実さんが採用されました。

iB； ちょうど一年が経とうとしていますね。ほんとに早いものです。

久留実；ほんとうに早いですね。あつと言う間で、先日言われるまで全然気づきませんでした。

iB；そう思う一方で、なんだかもうず〜っと前から仕事をしてもらっているような気がします。仕事をしてみてどうですか。

久留実；やりがいがあります！特に自分で仕事を探して考えて、それに取り組むことが大事なのと、またそのことを評価してもらえるということがすごくやりがいのあるところだと思います。

iB；仕事は楽しいですか？

久留実；楽しいです！

iB；いままでと仕事に対する考え方が変わったり、ということもありますか？

久留実；自分は以前から「先を読んで仕事をする」ということについてはいままでもずっとそうだったのでそこは変わりはないんですが、それを評価してもらえ

る、ということはいままでと違うと思っています。

iB；そういう意味ではiBと久留実さんは相性がよかったのかもしれないですね。iBは水曜午後は「研究日」ということで、自分で何をするかを考えて普段の仕事を離れて別の研究をしてもらう時間をとったりしています。会社として働く人それぞれの自主性を大事にしているわけで、そのようにiBの仕事のしかたはよそとはだいぶ変わっているところがあると思いますが、どう思いますか？

久留実；自由ですね！のびのび仕事ができると思います。



iB；土日がお休みで誕生日休暇などもあり、比較のお休みも多いかと思います。

久留実；その点も嬉しいところです。

iB；毎日の仕事で気をつけていることなどはありますか？

久留実；私は頼まれた仕事はすぐに「片付けたい！」と思ってしまうんです。そのままにはできない。それはいいことだと思って、どんどんやっています。

iB；最近は価格設定などもよく話し合われているようですね。

久留実；はい、全体として加工が高度になってそのぶん単価が上がってきていると思います。ですので、それに見合うきちっとした仕事をしなければならない、と思って気を引き締めて仕事をしています。

iB；さてそういった日々の仕事に加えて久留実さんはPR活動でも期待をされています。

久留実；先日もスタジオで撮影をしていただく機会がありました。初めての経験でしたけど、私なりに衣装やポーズなどを研究して、できるかぎり頑張ってみました！いまも、次の撮影があるならと思ってその衣装についてアイディアがあるんです。自分らしさを出せるようにやってみたいと思っています。

iB；意欲的です。実際にiBで働いている人が、会社の顔としてモデルとしても活躍できるというのは素晴らしいことだと思います。また撮影以外にも計画があるそうですね。

久留実；はい。FacebookのなかにiB Ladyのページがあるんですが、これから私もiB Front Ladyとして、そこに投稿をしていこう

と思っています。お客様にもぜひみていただければと思います。それからすでに何度かやっていますが、iBのレースやイベントにも参加して、ブースでiBの加工技術の紹介をしたり、ノベルティーグッズの販売をしたりもしています。

iB；11月にはTaste of Tsukubaというたいへん観客の多いレースが筑波サーキットでありますね。

久留実；ギャルオンステージなどもあるそうなので、いまからドキドキです。ブースでたくさんのお客様にお会いできるのも愉しみにしています。

—Sherpa.Vol.5 KURUMI special.



iBの哲学と

PR活動

PR活動。-Public Relations-

この言葉にもいろいろ定義や解釈があるんですよね。ちゃんと勉強したことはありませんが、iBはそれなりにPR活動に対する独自の考え方を持って活動しています。PR活動はiBの存在意義を世の中の多くの方に知ってもらって、販売を伸ばして行くために不可欠なもの。これも大事な事実ですが、それが一番の目的と考えるのは少し視野が狭いように思います。

実はiBは世界に向けて言いたいことがあるんです。それは一言で言うと、「少量生産・単品生産の価値を見直すことによって、世界をスローダウンし、持続可能（サステイナブル）な社会を造ろう！」ということです

また、ウィリアム・モリスの「アーツ アンド クラフツ運動」が目指したようなアートと生活が一致するような生き方・世界をiBも目指しています。

極端に言うと、そのメッセージを発信するために会社が存在しているという見方もできると思うんです。そのメッセージを力強く発信するためには内燃機加工の事業をしっかりとやっていかななくてはいけない、という逆転した見方です。

ほんとうに面白いもの・価値あるものは大量生産品では得られるわけがない。これは多くの方が感じておられることではないでしょうか。

大量生産品の巨大な象徴のひとつである自動車やバイクの世界で、少量生産・単品生産の価値を訴求することができたら！それこそが内燃機屋がその誕生から思わず知らずやり続けて来たことであり、内燃機屋のもっとも得意なしごとであり、内燃機屋がこの世界で果たすべきもっとも大事な使命だったのではないかと！僕はそのことに気がついてたんです。そして、それを多くのかたに知ってもらいたいです。

iBの世界観

iBは独自の世界観を持っています。現代の世界は大量生産・大量消費・大量廃棄を前提に良質な製品を安価に生産し届けるシステムを構築したことで、物質的にたいへん豊かになりました。このことは誰も（iBも）否定することができない事実です

一方、この大量生産・大量廃棄システムが地球環境に多大なダメージを与え、もはや存続不可能な域に至っていることもまた重大な事実ですね。地球温暖化は差し迫った危機になりつつあります。iBは水素バイクを開発しています。これもサステイナブルな社会を実現するためのひとつの提案です。iBの「水素バイク」はカーボンニュートラルでしかもメカニカルに水素爆発を動力に変えるエンジンで走るバイクです。

現在世界にはエンジンのついた乗り物が9億台あるんだそうです。それを全部すてて（「エコ替え」をして）新しいエコカーを大量生産で造るのがはたしてエコになるのかどうか。そうではなくて、既存のクルマやバイクをちょっとだけ改造して水素

で走らせるようにしたら、これ以上にエコな方法はない！というのがiBの主張です。ざんねんながら水素エンジンを圧倒的に普及させるような体力がiBにはありませんが、ひとつのアートプロジェクトとして今後も水素バイクの開発は続けていきたいと思っています。少しずつでも古いバイクやクルマを一つひとつ水素燃焼エンジンに改造していくことができれば、これこそ単品製作の価値を最高にアピールできる美しい方法ではないかとも思っています。

世界を少しスローダウンさせるのが大事であること。「競争の20世紀」から「協調の21世紀」に既になっていること。そして「少子化しながら発展している日本はその最先端にいること」を多くの人に気づいてもらうこと。このような主張を世界に届けること。そして「（すこしだけ）世界を変えること」。それこそがiBの存在理由であり、しかもNPOやボランティアとしてではなく、利益を得る内燃機屋の事業として営業しながら主張を継続していく。そこに最高の意義があるのではないかと考えています。

「エンジンで世界を笑顔に！」

お父上が大切にしていたヴィンテージバイクをご子息が大事に乗り継いで行くことができるような落ち着いた世界。それがiBが夢見る世界です。そのような夢が実現できるまでiBは積極的なPR活動を可能な限り続けて行きたいと思います。

この広報誌[SHERPA]の発刊もその一環です。

様々なPR活動

「エンジンで行こう！」

ネット上のPR番組。iBの活動や加工技術を紹介しています。

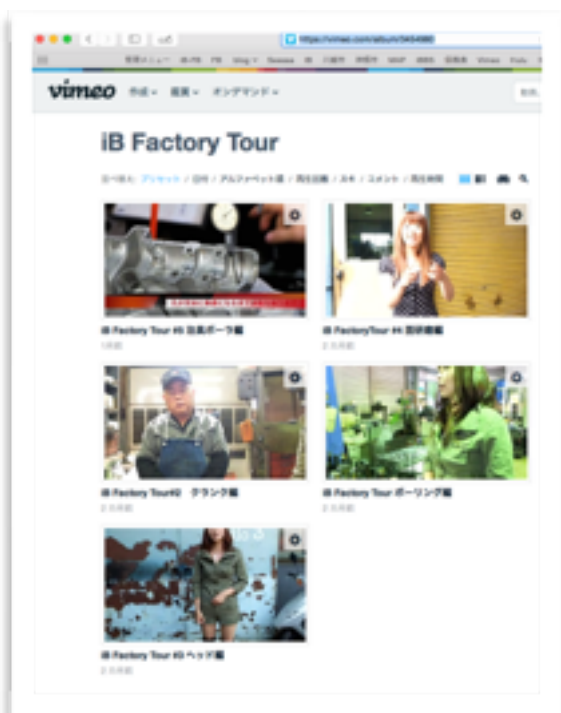
毎月第2木曜午後7時からの1時間。



iB Factory TOUR

動画でiBの加工技術を紹介しています。

<https://vimeo.com/album/3454980>



iB Facebook Page

毎日数本の投稿でiBのあらゆる活動を紹介をしています。



iB-Lady

Facebook Page

KURUMIさんやiB-Lady自身が投稿でイベントや日々の活動をレポート。

「エンジンで世界を笑顔に！」

創業62周年 株式会社井上ボーリング



(株) 井上ボーリング

〒350-1155 川越市下赤坂671 TEL:049-261-5833 FAX:049-263-1425 URL:www.ibg.co.jp e-mail:reserv@ibg.co.jp